

私の明治大学

昭和 44 年 3 月、政治経済学部政治学科（比較政治学 岡野加穂留ゼミ）を卒業しました。早いものでもう 44 年経ちました。

現在、学園前に住んでいますが、出身は三輪（桜井市三輪）です。小学校、中学校は三輪、高校は畠傍高校です。中学、高校時代は、生徒会活動（会長、副会長）をやっていました。学校内の問題は山積していましたが、みんなで知恵を出し合って解決したのもよい勉強になりました。新聞記事のスクラップ帳を作っていたこともあり、政治、政治学に興味がありましたので、首都東京の大学で勉強したいとの一心でしたが、当時の畠傍は全国の国公立大及び関関同立を受験する生徒がほとんど、東京の私学を希望する者は少数派で、合格ライン等のデータ、資料もなく手探り状態、又昭和 21 年生まれ（団塊世代の 1 年前）は人数が最も多く、東京の有名私大はどの学部も軒並み 30 倍から 40 倍の競争率（合格者発表は募集定員の 2 倍）となっていました、3 大学 5 学部（学科）を受験、結果は 3 勝 2 敗。その中から明治の政治学科を選びました。当時、政治学科の教授陣は日本最高レベルの方々がそろっておられたと思います。

たまたまご縁があり、桜井の高校の先輩が早大法学部を卒業する後釜に、同じ下宿（12 人居住、新宿区早稲田鶴巻町）に入れていただき、入試時から卒業するまでお世話になりました。和泉の 2 年間は都バスで新宿西口経由京王線明大前、和泉図書館と駅周辺の喫茶店で本ばかり読んでいました。3 年生になり、駿河台へは都電で飯田橋、九段下、神保町から駿河台下。喫茶店はもっぱら大学横の「丘」と「田園」でした。

岡野ゼミに入りました。先生とは 2 年生の秋にお会いし、大学院の研究室に時々行ったりしていました。ゼミで私に与えられたテーマは「スウェーデン社会民主労働党の歴史」（同党は長期間政権党）の英訳本でした。福祉社会保障政策、税制、産業政策、安全保障政策等の変遷過程を勉強しました。スウェーデンには学生時代に行くことができず、会社の出張でストックホルムへ 2 回行くことができました。

4 年生の 9 月、それまで、大学院に進み大学に残って研究したいと考えていましたが、急に就職することとなり、その年最後の入社試験を受けました。

残念ながら岡野先生は他界されましたが、科学的なものの見方について厳しく教えていただきました。私の大学時代は「ベトナム戦争」「成田闘争」「学費値上げ」「中国文化大革命」「ビートルズ来日」「3 億円事件」そして、高度経済成長序盤の時代で、閉塞感と明るさが同居しているような状況でしたが、社会全体熱気がありました（自分はノンポリでした）。安酒を飲み歩いた政治学科 1 組とゼミの仲間、下宿の先輩後輩とは今でも便りの交換をしています。

ここに一誌、一紙があります。岡野ゼミの研究雑誌「一生一步」（表紙は先生の自筆）… 人生は一歩づつ？ 人生は一歩しか歩めない？

卒業する時、先生が無言でわたしてくれた「只管打務」の色紙… 先生が鎌倉円覚寺へ書道と座禅に通っていた時代、朝比奈宗源官長から教わった「只管打座」をもじった？

何年も続いた転勤と単身赴任が一段落したので奈良県校友会の行事に参加して以来、先輩諸兄と校友の皆様方のご指導ご厚情に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、我が愛する母校明治に思いをいたしつつ、校友会奈良県支部の活動に一人でも多

くのO Bの方々に参加していただけよう、又奈良県内から一人でも多くの高校生が受験し、入学してくれるよう、がんばっていこうと思っています。

昭和44年政治経済学部政治学科卒業
畠 靜雄